

【チリ：プンタアレナス】

人口 13 万人。チリにおける南極観光の拠点。19 世紀中頃より入植（／移民）政策を進め、当初は流刑地でもあった。年間を通して風が強い。



強風による大木の傾き
(左が西：太平洋，アンデス山脈側)



強風対策としての手摺り

19 世紀頃より本格的に町造りを進めたとのことであるが、大径木はそれ以前からのものと思われる。



【マゼラン海峡】



マゼランペンギンのコロニー
(マゼラン海峡の島：比高 100m 程度)



ペンギンの巣穴（山頂部まで，全島に分布）



狩りのため，海岸際に集合
…6～7羽の集団（家族？）で行動



ペンギンの卵を狙うかもめ…



シーライオン（ゾウアザラシ）のコロニー

○プンタアレーナスからパイネへ移動



フラミンゴ・・・草原内にはこのような池（水たまり）が点在。水のない状態のものもあり，地下水の変動で出現するものと思われる。

【トーレス・デル・パイネ国立公園】・・・パイネ・グランデ（最高峰 3050m）



トーレス・デル・パイネ国立公園（花崗岩の山体と氷河湖）



数日前の異常豪雨により、手前側敷地が冠水状態（遠方はグランデ，パイネ峰）



白い部分が片岩に貫入した花崗岩（バソリス）



森林火災跡（パイネ国立公園内：たき火による）



豪雨直後の増水
・・・氷河下流は浸食による濁りが絶えない

○パイネからチャルテン（アルゼンチン）に移動



グアナコの群



レア（写真手前、ダチョウに似ている）



パイネ（チリ）～チャルテン（アルゼンチン）国境検問所



イギリス人（移民）が経営する農場
（農家レストラン）での食事（羊の丸焼き）



使い込んだ木製食器
移民政策により、フォークランドから移り住んだイギリス
人が経営。音を立てず、行儀良く頂くことができました。



羊の丸焼き（パタゴニア地方の定番）



毛刈りの実演・・・右は一頭分



牧羊犬による実演
…主人の口笛を聞き分け、実に見事でした
左写真のように、バイクの後ろに乗って移動.



手前の黄色い草が、羊が食べるコイロン。あまりにも固いため、5年で歯が抜けるとのこと
(日本と異なり、食用は生後1年未満)。コイロンのお陰で肉の臭みがない。



木がないため、地質構造が良く分かる



かつて 1000m 厚の氷河が堆積した地域で、周囲の山地には氷河浸食の痕跡。草原地帯には、伏流水が点在。

【チャルテン】・・・アルゼンチン

パタゴニア地方の最高峰（3405m）フィッツロイ等への登山基地，観光拠点であり，冬は閉鎖．チリとの領土争いを制するため，入植を進めた地．ロッククライマーのメッカ．



チャルテンの町（冬は閉鎖）：左は喫茶店



ホテルロビー
・・・木材がふんだんに使われている



ロッククライマーのメッカ・・・中央上部に数人

仕事柄, “岩盤がどのように破壊するか” も視察目的の一つでした.



岩盤底面の破断形態 (花崗岩)

○セロ・フィッツロイ展望台へのトレッキング





チャルテンの町とセロ・フィッツロイ（南パタゴニア最高峰）



スカンクの巣穴



南極ブナの林。風が強く樹高5~10m程度のものが多い。



歩道：セロ・フィッツロイ展望台へのトレッキング
・・・歩道には丸太（現地発生材？）を利用した整備がなされていた

